

保護者の皆様

札幌市立拓北小学校

校長 割石 隆浩

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

4 月 2 3 日に全国の 6 年生を対象にした全国学力・学習状況調査を実施しましたが、本校に関わる調査結果と今後の方向性についてご報告いたしますので、ご覧ください。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の部分であり、学校における教育活動の一側面ということをご理解ください。

【質問紙調査】

肯定的な回答をした児童の割合が全国平均を上回っている項目

- 自分には、よいところがあると思いますか。
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか。
- 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。
- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

肯定的な回答をした児童の割合が全国平均を下回っている項目

- 国語の授業の内容はよく分かりますか。
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。

学
ぶ
力

- PC やタブレットを用いて調べたり、表現したり、活用したりする質問は、全てにおいて全国平均を上回っています。今後も、情報モラルに留意しながら指導を続けて参ります。
- 国語において、「内容がよく分かるか」「将来役に立つか」という項目が全国平均より下回っています。基礎基本の定着も大切にしていきます。
- 他者と話し合いをすることに肯定的な回答が高い傾向にあります。引き続き学校生活において他者との関わりを充実させていけるよう工夫していきます。
- 授業で学ぶ際には、実生活の具体例と結び付けるなど、学習と日常が繋がるような指導の工夫も行っています。

豊
か
な
心

- 「自分には、よいところがあるか」という質問では肯定的な回答の割合が全国平均を上回っており、自己肯定感が高い児童が多い傾向にあります。
- 「人が困っている時は進んで助けたい。」「人の役に立つ人間になりたい。」など、他者のために行動しようとする回答が全国平均より上回っています。学校生活全般において、他者意識を大事にした姿勢をより育めるよう、今後も指導していきます。

健
や
かな
体

- 「朝食を毎日食べているか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きているか」という質問では、いずれも肯定的な回答の割合が高く、規則正しい生活をできている児童が多い傾向にあります。ご家庭でのご協力に感謝いたします。引き続きよろしくお願いいたします。

【小学校国語】

本校の概要

【学習指導要領の内容】

「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「情報の扱い方に関する事項」

△全国平均を上回っている。

「話すこと・聞くこと」

▼全国平均を下回っている。

「書くこと」

▼全国平均を下回っている。

「読むこと」

▼全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解して使うこと。

・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話すこと。

・引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

・目的に応じて、必要な情報を見付けること。

改善の方向

◎学習した漢字を文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けるようにする。熟語の使用では、漢字のもつ意味を考えて使う習慣が身に付くようにする。

◎文章の内容や図で表した関係を、自分の言葉で短く説明する練習を行い、情報を正しく活用する力が身に付くようにする。

◎「なぜそう思ったのか」を事実や根拠を基にしながら話すことを意識させる。また、話の中心は何かを考えながら聞けるように指導する。

◎引用した文章と、それに対する自分の意見や解釈の文章を分けて考えることで、自分の考えを根拠をもって書くことができるようにする。

◎「何について調べるのか」、「どんな答えを探すのか」など、目的を最初に共有し、漠然と読むことにならないよう指導する。

【小学校算数】

本校の概要

【学習指導要領の領域】

「数と計算」

▼全国平均を下回っている。

「図形」

◇全国平均とほぼ同程度である。

「測定」

△全国平均を上回っている。

「変化と関係」

▼全国平均を下回っている。

「データの活用」

▼全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

- ・異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること。

- ・四捨五入をして概数で表すこと。

- ・体積の意味について理解すること。

- ・示された情報を基に、数量の関係に着目して条件に合う時間を求めること。

- ・基準量、比較量、割合の関係を正しく理解すること。

- ・単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を記述すること。

- ・二次元の表から、条件に合う数を読み取ること。

- ・帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ること。

改善の方向

◎分数の比較においては、通分する、数直線や図で捉えるなど、複数の視点で理解できるようにする。

◎計算手順の暗記にとどめず、数直線などを用いて概念的に理解できるようにする。

◎なぜその公式、計算になるのかを、図や言葉を使って自分の言葉で説明、共有する場面を設定する。

◎問題文中にある時間の条件を、数直線や表に整理して書き出すなどを行い、求める答えが何かを可視化できるようにする。

◎「何をもとにして考えているのか」「1あたりの量を出すために、なぜその数で割るのか」を説明する場面を設定し、式と結び付けて理解を深められるようにする。

◎読み取ったデータから、何が言えるのか言語化する活動を行う。